

外灯の運用管理 太陽光採光システム・照明設備への反射板の導入

『運用変更』
『設備改修』

外灯は不必要時消灯されていますか？

現在、手動で外灯の点灯・消灯を行っている場合、周囲の明るさに関わらず点灯されている場合があります。そこで、センサーにより周囲の明るさを感じし、自動で点消灯したり、時間帯に応じて外灯の間引き消灯を行うことで省エネを図ります。

対策例

外光センサーの導入により、外灯の点消灯の自動化を実施。
外灯の消し忘れによるムダな電力をカット

暗くなると 外光センサー機能により自動点灯	23:00になると スケジュール機能により間引き消灯	明るくなると ソーラータイマ機能により自動消灯
		
退社時等、明かりが確保されます	付近住民に配慮して半灯省エネにも	無駄な電気は使いません

対策例


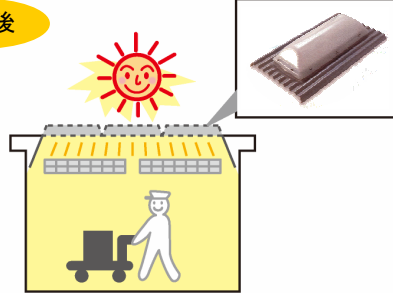
外光センサーの設置箇所は、外光を遮る障害物の影響を受けない場所に設置する等のチェックが必要である。

太陽光採光システムによる自然採光及び照明設備への反射板の導入による照明電力の削減は図られていますか？

屋根に太陽光採光システムを取り付け、自然光を取り入れ、作業環境の改善と共に照明電力の削減を図ります。また、照明器具に反射板を取り付けると、照度がアップするため、照明を間引くことにより省エネを図ります。



太陽光採光システムの導入

対策例

対策前  屋内作業には照明が必要	対策後  自然光の導入により屋内照明電力を削減
---	--

照明設備への反射板の導入

対策例

対策前  照明が全数点灯しているため消費電力が大 上方向の光がムダ	対策後  反射板の設置により照度がアップし、照明の間引きによる省エネが可能 反射板の設置により照度アップ
---	--